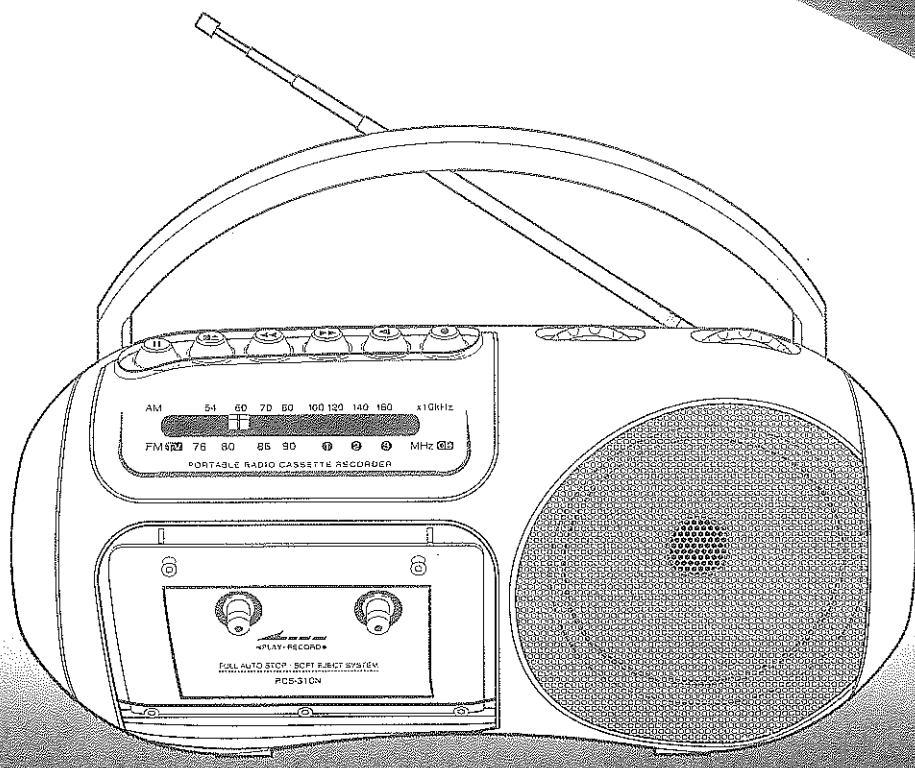
ELECTRIC INC.
OHM

録音・再生ワンタッチ！
学習用にも使える簡単ラジカセ



取扱説明書 保証書付

RCS-310N

AM/FM(TV1~3ch) モノラルラジオカセットレコーダー

このたびは、OHMモノラルラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”**なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

目次

安全にお使いいただくために …… 2
お手入れ方法 …… 5
電源について …… 6
カセットテープについて …… 7
各部の名称 …… 8
ラジオを聴くには …… 9
テープを聴くには …… 10
テープに録音するには …… 12
おや？故障かな？ …… 14
おもな仕様 …… 15
保証とアフターサービス …… 15
保証書 …… 16

安全にお使いいただくために

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。

⚠ 警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的損害を受けたりする可能性があることを示しています。

⚠ 警告

日本の家庭用電源で使う

電源コードのプラグは、家庭用コンセント(AC 100V 50/60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

電源コードやプラグを傷つけない

電源コードやプラグの損傷による火災や感電を防ぐため次のことをお守りください。

- 電源コードやプラグを加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの表面のビニールを熱器具に近付けたり、加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。

感電の原因となることがあります。

⚠ 警告

分解禁止

本体内部を開けない

感電の原因となります。

水かけ禁止

本機内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。

- 通風孔から金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり落とし込んだりしない。
- 本機の上に水の入った容器や小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かない。
- 水がかかるような場所では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露等に注意する。

感電に注意

雷が鳴りだしたら、電源コードやプラグ、アンテナに触れない

感電の原因となります。ただし本機を屋外で使用中に遠くで雷が鳴り出したときは落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナを縮めて使用を中止してください。

次のような症状が見つかったら

- 異常な音やにおいがする、煙がでている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。
- 電源コードやプラグに傷がある。

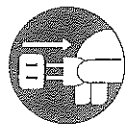
電源を切り、電源コードを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または、弊社お客様相談室に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電の原因となる事があります。

- ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団等の不安定な所に置かない。
- 湿気やほこりの多い所、湿気や油煙が当たるところに置かない。
- 暖房器具のそばや、直射日光が当たる所等の高温になる場所に置かない。
- 布をかけたり、密閉したラック等の中に入れない。



安全のため家庭用コンセントより電源コードのプラグを抜く

旅行等でしばらく使わない場合やお手入れをする場合、本機を移動させる場合は火災や感電の思わぬ事故を防ぐため、電源コードのプラグを抜いてください。

温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために以下の事をお守りください。

⚠ 警告	火中への投入、加熱、分解をしない。／ショートさせない。／充電しない。／種類の異なる乾電池（マンガンとアルカリ）は使用しない。
⚠ 注意	＋－の表示通りに入れる。／指定以外の電池を入れない。／使い切った電池はすぐに取り出す。／しばらく使わない時は電池を取り出しておく。

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流してください。

お手入れ方法

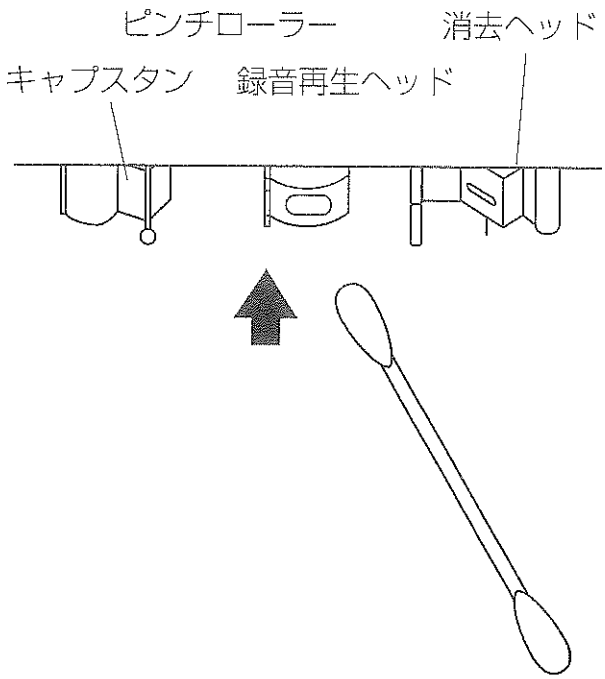
●本体のクリーニング

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどいときは布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いたあと、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは
使用しないでください。

●本体ヘッド部のクリーニング

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどのテープと接触する面の汚れは、雑音や不安定なテープ走行の原因となります。常に良い音でお楽しみいただくためにも、定期的に（約20時間のご使用を目安に）お手入れをしてください。
お手入れの方法は、市販の綿棒に無水アルコールか、クリーニング液を少し含ませてヘッド部分の汚れを丁寧に拭き取ります。この時、綿棒をキャプスタンやピンチローラーに巻き込まれないようにご注意ください。

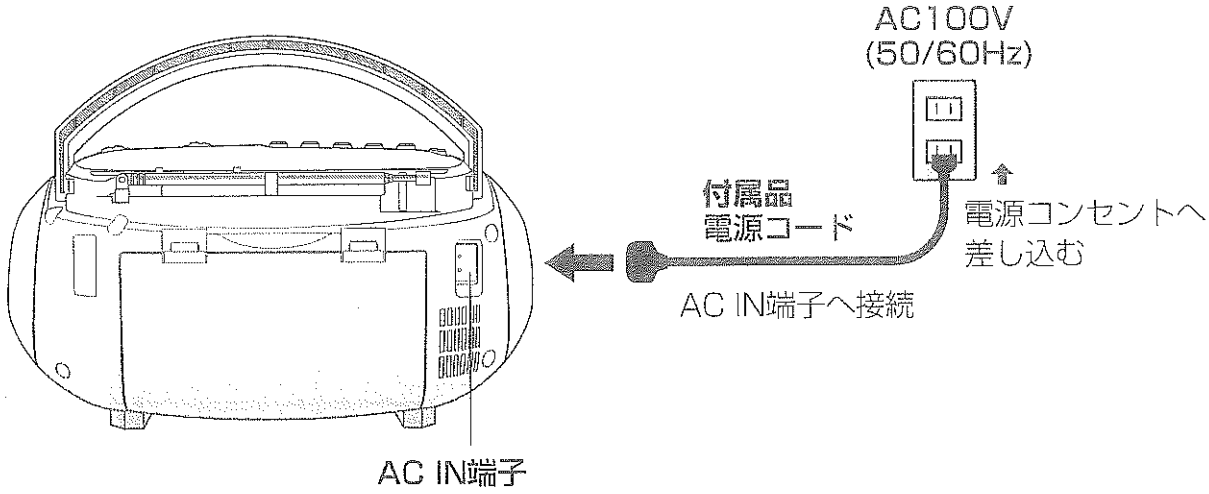


電源について

⚠ 電源コードを抜き差ししたり電池を出し入れする時は、ファンクションスイッチをテープ（ラジオ切）側にして電源が切れた状態で行ってください。

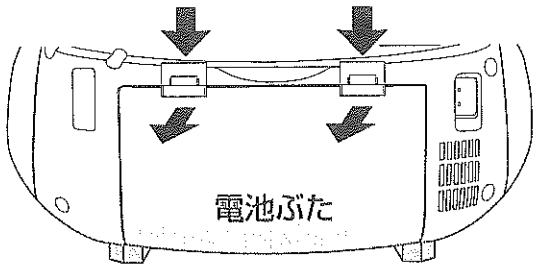
家庭用コンセントで使うには

付属の電源コードを本機裏側にあるAC IN端子へ接続した後、家庭用コンセントへ差し込んでください。

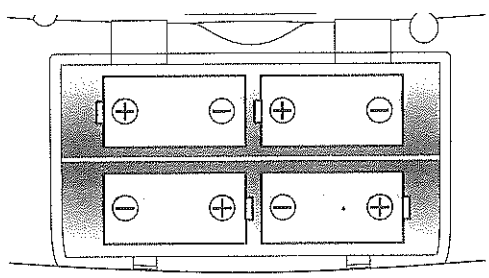


乾電池（別売）で使うには

本機裏側の電池ぶたを開けてください。（下図参照）次に本機裏側に表示してあるとおり、単1形乾電池（別売）を4本、＋－を正しく入れます。電池を入れ終えましたら電池ぶたを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。



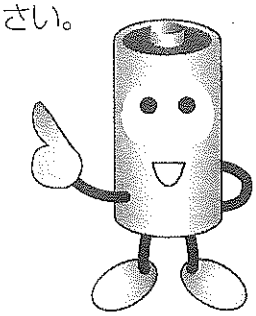
ツメを押し下げて開ける



単1形乾電池×4本

注意

種類の異なる乾電池や、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。



※乾電池で使うときは、電源コードが本機裏側のAC IN端子から抜かれている事をお確かめください。接続されたままですと乾電池ではご使用できません。

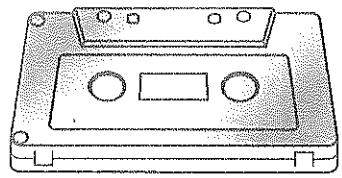
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったりします。このような状態になりましたら、乾電池を新しいものと交換してください。

カセットテープについて

使用できるテープの種類

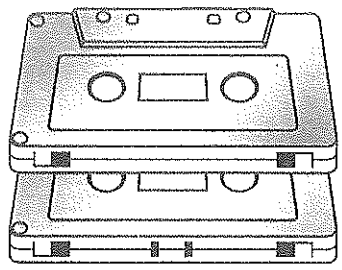
ノーマルテープ(Type I)をお使いください。ハイポジションテープ(Type II)や、メタルテープ(Type IV)には録音できません。ノーマルテープにおきましても、C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のテープトラブルの原因となりかねませんので、ご使用はお薦めできません。

○
ノーマルポジションテープ
(Type I)



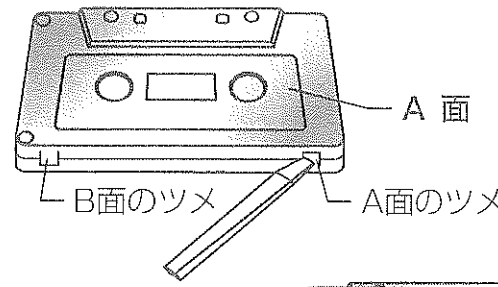
×
ハイポジションテープ
(Type II)

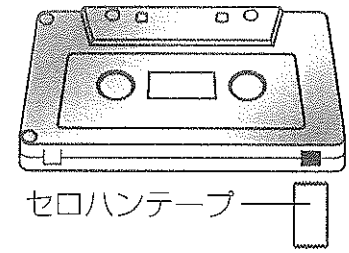
メタルポジションテープ
(Type IV)



録音した内容を誤って消去しないために

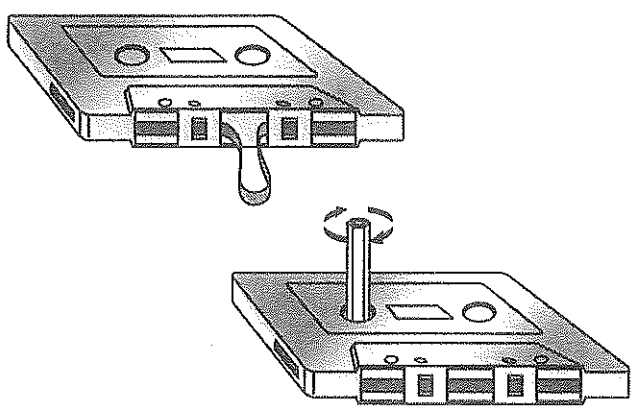
- カセットテープの背面にある誤録音防止用のツメをドライバー等で折ります。
- ツメを折ったカセットテープにもう一度録音するにはツメを折った穴をセロハンテープ等でふさぎます。





カセットテープのたるみについて

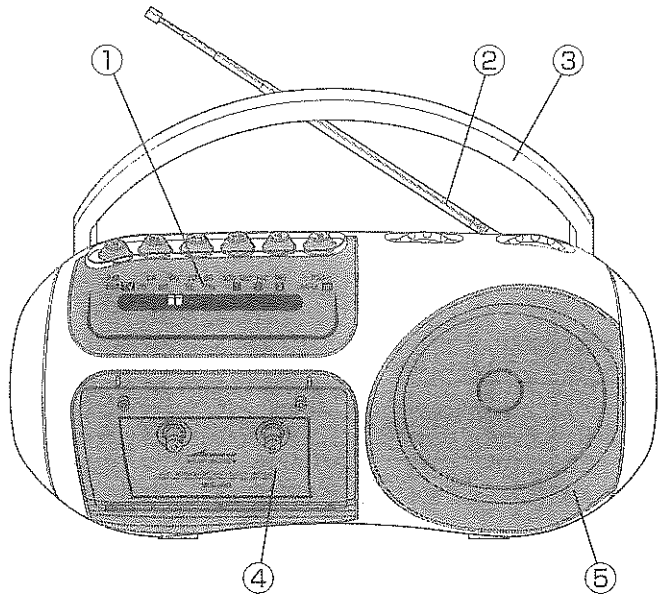
ご使用の前に、テープのたるみを取り除いてください。
たるんだまま使用するとテープが機械に巻き込まれて故障の原因となることがあります。



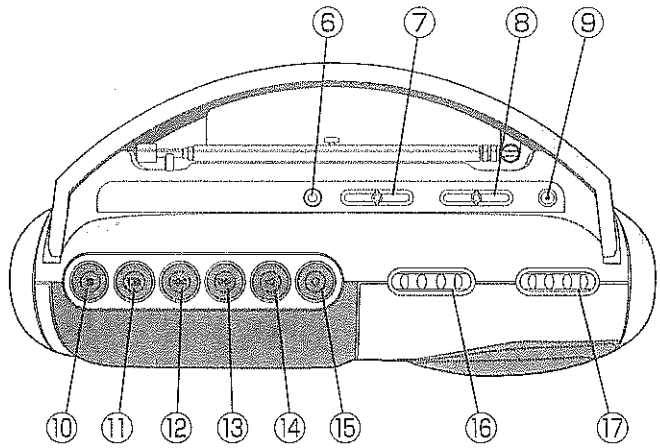
音楽著作権について

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従って、それらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

各部の名称

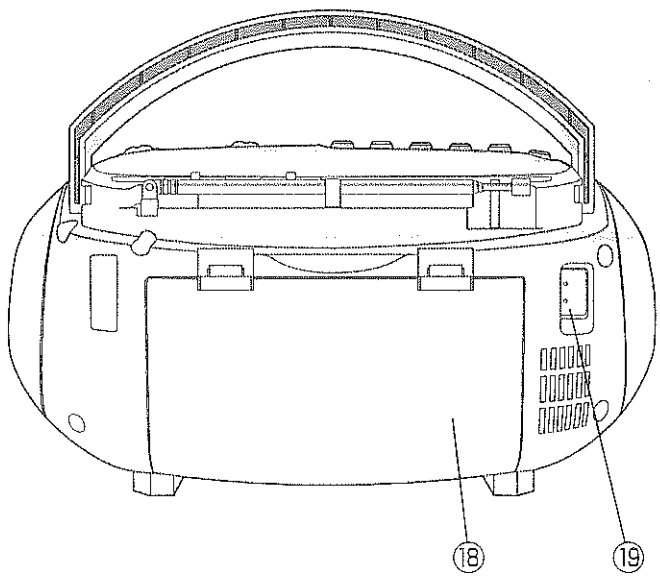


① ダイヤル目盛り
② FMアンテナ
③ ハンドル
④ カセットドアー
⑤ スピーカー



⑥ ヘッドホンジャック
⑦ ファンクションスイッチ
⑧ バンド切換スイッチ
⑨ 録音マイク

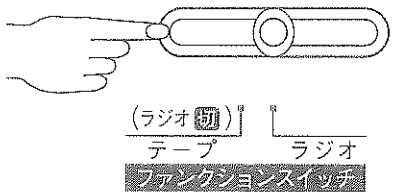
⑩ 一時停止ボタン
⑪ 停止／取出しボタン
⑫ 早送りボタン
⑬ 巻戻しボタン
⑭ 再生ボタン
⑮ 録音ボタン
⑯ 選局ツマミ
⑰ 音量調整ツマミ



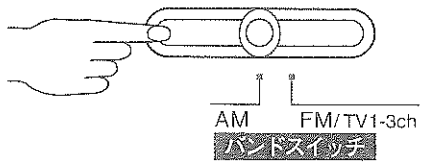
⑱ 電池ぶた
⑲ AC100V電源ソケット

ラジオを聴くには

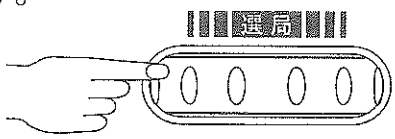
1 ファンクションスイッチを「ラジオ」側にします。



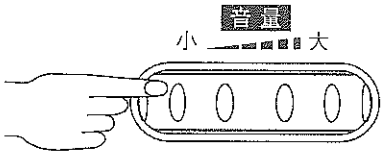
2 バンド切替スイッチで、AMまたはFM/TV1-3chを選びます。

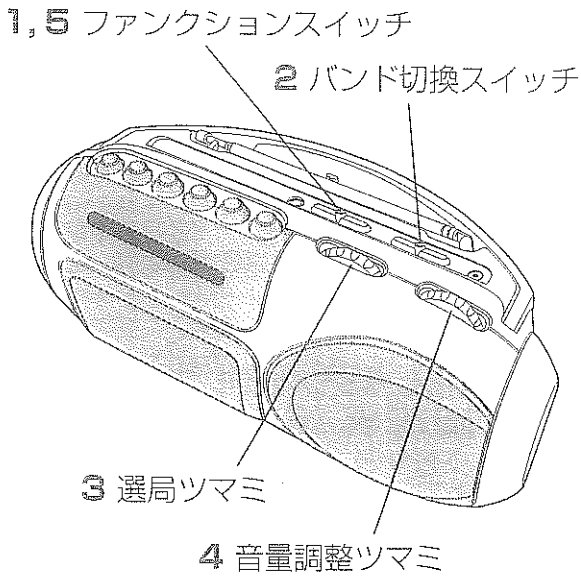


3 選局ツマミを回して聴きたい放送局を受信します。

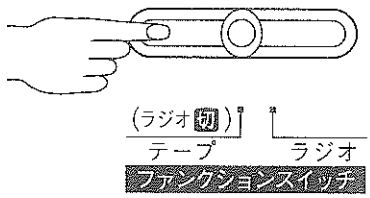


4 音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。





5 ラジオ放送を切るときは、ファンクションスイッチをテープ(ラジオ切) 側にします。



テレビの音声について

※本機では、FMでTV1～3ch音声が受信できます。

受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にバーアンテナが内臓されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

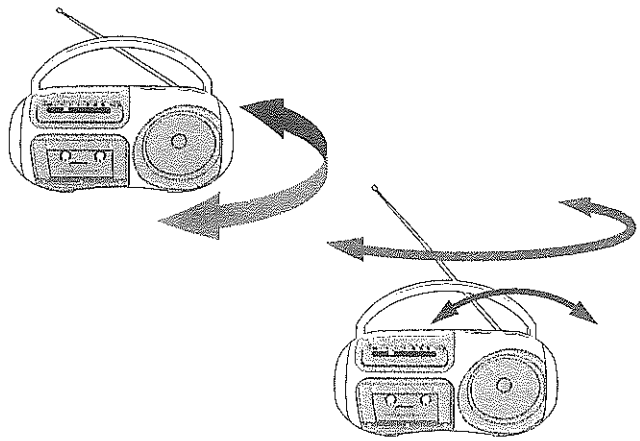
●FM(TV1～3ch)放送の受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

注意

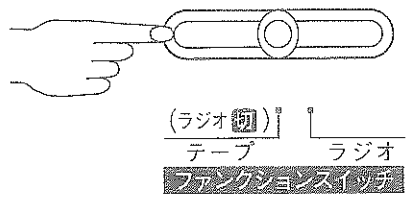
●持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。

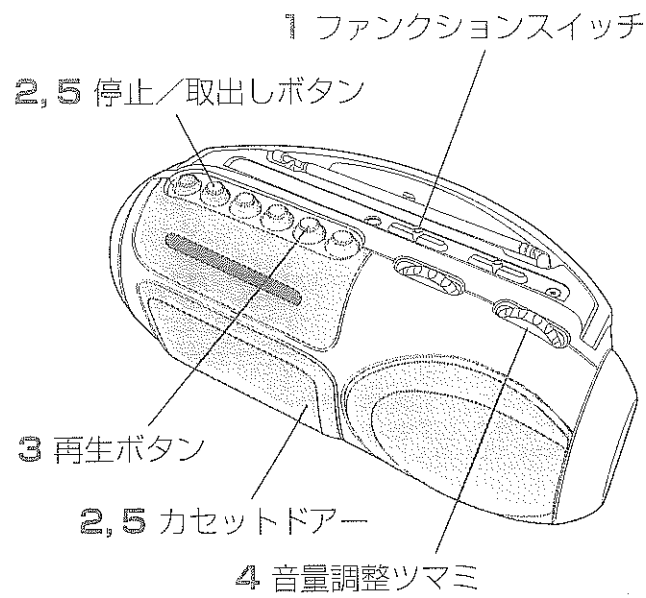
●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。



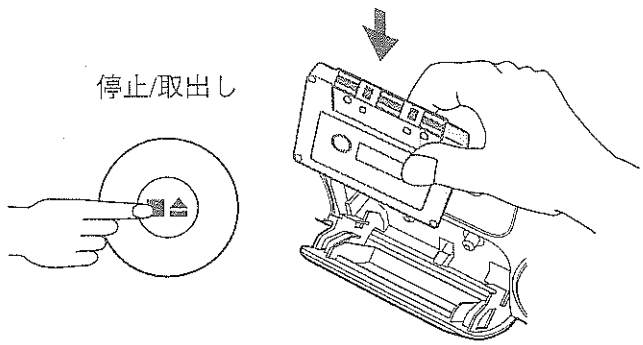
テープを聴くには

1 ファンクションスイッチをテープ(ラジオ切)側にします。



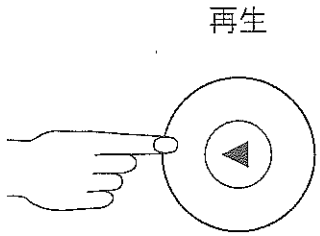


2 停止/取出しボタンを押して、カセットドアーを開けます。カセットテープを正しく装着し、カセットドアーを確実に閉めてください。

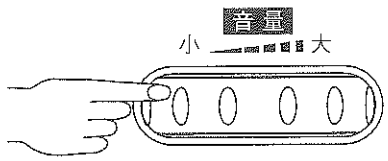


停止/取出しボタンを押してカセットドアーを開き、テープの見える側を上に、再生する面を手前に向けて入れたあと、カセットドアーを手で押して閉めてください。

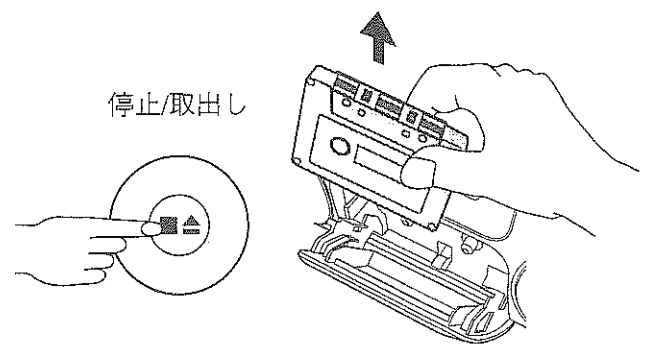
3 再生ボタンを押すと、テープが再生されます。



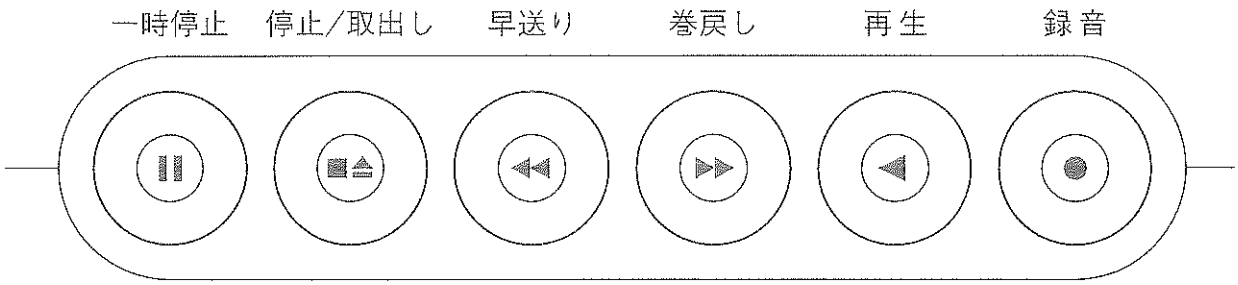
4 音量調整ツマミで、お好みの音量に調整します。



5 テープを止めるときは、停止/取出しボタンを押すと、テープ走行が止まります。テープが止まったのち、再度、停止/取出しを押すと、カセットドアーが開きます。テープを取り出して、カセットドアーを閉めてください。



カセットデッキ部操作ボタンの基本操作一覧



一時停止・・・・・・・押すと録音や再生を一時中断し、再度押せば再び開始します。

停止/取出し・・・・押すとカセットドアーが開きます。早送り・巻き戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。

早送り・・・・・・・・・押すとテープを左側のリールに早送りします。

巻戻し・・・・・・・・・押すとテープを右側のリールに巻戻しします。

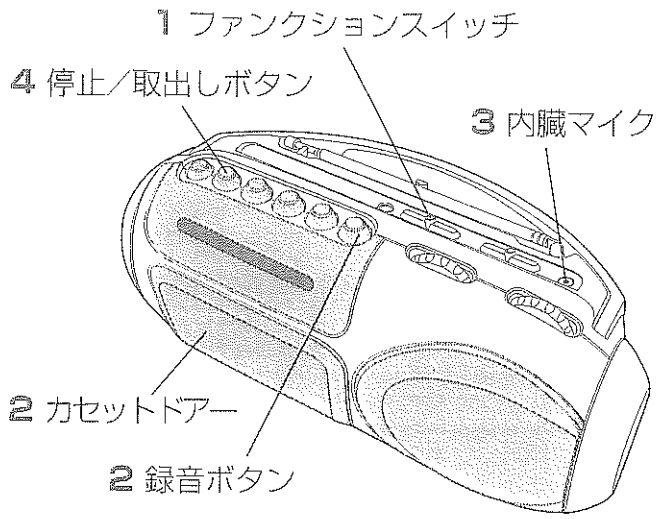
再生・・・・・・・・・・・押すとテープを再生します。

録音・・・・・・・・・・・押すとテープに録音します。このボタンを押すだけで再生ボタンも一緒に押し込まれ、録音状態になります。

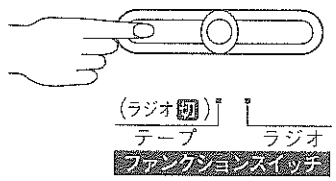
※録音・再生・早送り・巻戻しは、テープ走行を停止させてから行ってください。

テープに録音するには

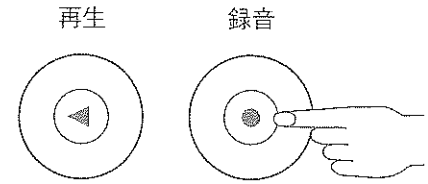
内臓の録音マイクによって録音する場合



1 ファンクションスイッチをテープ(ラジオ切)側にします。



2 カセットテープを正しく装着して、録音ボタンを押します。

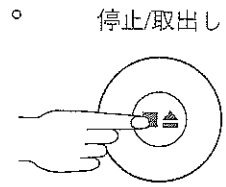


再生ボタンも同時に押され録音が始まります。
テープが終わると自動的に停止します。

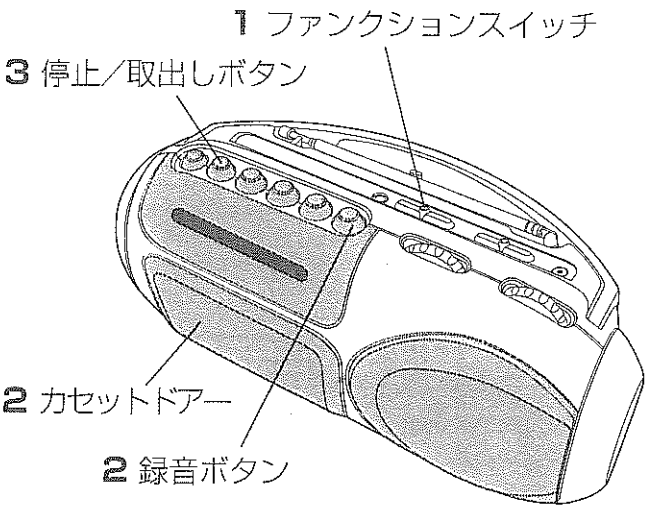
3 本機に内臓した録音マイクに向かって、録音を始めます。

マイク

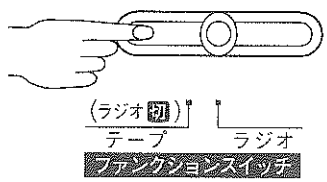
4 録音を終えるときは停止/取出しボタンを押します。



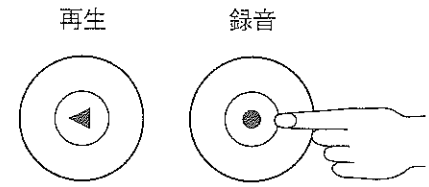
ラジオやテレビの音を録音する場合



1 ファンクションスイッチをラジオ側にし、録音したい番組を受信します。

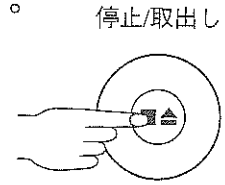


2 カセットテープを正しく装着して、録音ボタンを押します。



再生ボタンも同時に押され録音が始まります。
テープが終わると自動的に停止します。

3 録音を終えるときは停止/取出しボタンを押します。



※録音レベルは、自動調節で一定に録音されますので、録音時に音量調整ツマミを操作しても録音には影響がありません。

フルオートストップ機能

再生・録音・早送り・巻戻し時にテープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。

テープの録音を消去するには

録音されたテープの上から新たに録音をすると、前の録音は消されて、新しく録音できます。

ラジオカセットレコーダー使用上の注意

●ラジオから録音する場合は、受信状態が十分安定している事をお確かめの上、録音されることをお薦めします。受信状態が悪いと録音状態も悪くなります。

●カセットテープの装着は正確かつ丁寧に行ってください。装着が不確実ですと、テープが絡まる、巻き取らない、操作ボタンが押せない等のトラブルが生じます。なお、ご使用中のカセットテープの故障及び破損につきましては一切責任は負えませんのでご了承ください。

●家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音が耳障りになる時があります。その場合は乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

ヘッドホンで聴くには

●別売のヘッドホン(φ3.5mmミニプラグ) をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。

なお本機はモノラル仕様ですので、ステレオヘッドホンでお聴きになる場合は、ステレオ音声ではなく、両チャンネルからモノラル音声が聴こえます。

●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

おや？故障かな？

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。

症状	チェック項目
動作しない	電源コードがはずれて（ゆるんで）いませんか？
	乾電池が正しく入っていますか？
	乾電池が消耗していませんか？
音が出ない	音量が最小になっていませんか？
	ヘッドホンジャックにヘッドホンが差し込まれていませんか？
カセットドアーが閉まらない	カセットが逆向きではありませんか？
	操作ボタンを押していませんか？
テープが走行しない	一時停止ボタンが押してありませんか？
テープ走行が不安定	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
テープが機械に巻きつく	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	カセットドアーがきちんと閉まっていますか？
録音ボタンが押せない	録音しようとするカセットの、誤消去防止用のツメが折れていませんか？
	カセットドアーがきちんと閉まっていますか？
前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	ハイポジション（TypeII）やメタルポジションテープ（TypeIV）を使っていませんか？
	消去ヘッドが汚れていませんか？
雑音がひどい、音が震える、 音飛びがする、高音が出ない	ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
ラジオ時に雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか？ （携帯電話を本機から離して使用してください。）
	テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れる事があります。このような時は本機をテレビから離してください。

おもな仕様

共通部	
定格出力	550mW
周波数特性	40Hz～10kHz
スピーカー	9cm×1個
電源	AC 100V 50-60Hz
	単1形乾電池4個
定格消費電力	8W
外形寸法	276(W)×142(H)×134(D)
質量	約1.1kg（乾電池含まず）

付属品	電源コード
	取扱説明書/保証書

カセットデッキ部	
トラック方式	4トラック2チャンネル
ワウ・フラッター	0.35%以下

チューナー部	
受信周波数	FM/TV1-3ch: 76-108MHz
	AM: 530-1630kHz
アンテナ	FM/TV1-3ch: ロッドアンテナ
	AM: 内臓フェライトバーアンテナ

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談室にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社お客様相談室にご相談ください。